

2019年度公開講座報告 デートDV 対応スキルを学ぶ基礎研修

2019年12月7日, 松江市民活動センター



2019年12月7日、スティックビルにおいて、さひめ公開講座「デートDV 対応スキルを学ぶ基礎研修」を開催しました。講師は、認定 NPO 法人エンパワメント神奈川の阿部真紀さんと浜谷典子さんです。

午前の部（9：00～12：00）は、①「暴力と人権」②「デートDVで起る暴力と実態」についての講義、午後の部（12：00～16：00）は、③「デートDV 予防プログラム模擬体験（高校生向け）」④「被害者への基本的な対応」⑤「他機関との連携」について、事例を通してグループでディスカッションをするという参加型の研修でした。

「あなたは大切だよ」と、人はみな暴力を受けずに生きていく権利があることを伝えること、暴力を受けた時の気持ちについて、マイナスの気持ちも言葉にすることが大事なこと、「聴く」ことの大事さを知りました。また、相談を受けた時、「話してくれてありがとう。」と伝えること、「対等ですか?」と聞き、「デートDVですよ。」とは言わないという具体的な話も印象に残りました。

事例検討をする中で、相手の気持ちに寄り添って聴くことの難しさ、つつい何とかしなくてはと思って頭の中がいっぱいになってしまう自分に気づかされました。 （文責 若槻みき子）

エンパワメント神奈川のお二人には、前日12月6日に松江高専での研修をおこなっていただきました。

デートDV防止プログラムを実施

12月6日(金)NPO法人「エンパワメントかながわ」の阿部真紀さまと浜谷典子さまを講師にお迎えし、4、5年、専攻科の女子学生を対象に「デートDV防止プログラム」を実施しました。

ドメスティックバイオレンス(DV)とは「お互いの人生を豊かにするはずの親密な関係において、一人がもう一人を様々な『暴力』によってコントロールすること」、「恋人同士の間で起るDVを「デートDV」と言うこと」、「暴力の種類は『身体的暴力』だけでなく『行動の制限』『精神的な暴力』『経済的暴力』『性的暴力』を含むこと」等を学びました。

交際しているカップルの「3組に1組」にデートDVが起きていると言われます。「男性」が被害にあうこともあります。2007年度にエンパワメントかながわと横浜市共催の「デートDVについての意識・実態長調査」で、交際経験のある高校生・大学生（576人）のうち、デートDVの被害にあったことがあると答えた人は35%（女性のうち39%、男性のうち27%）だったそうです。

松江高専ホームページより

一般社団法人もふもふネット研修会参加報告

●2019.10.26-27（於：大阪） 講師：野坂祐子氏、浅野恭子氏

研修内容：性暴力の影響の理解と支援技法

- 1日目：子どもの性暴力被害の特徴＜性的トラウマについての心理教育、子どもへの心理教育＞
 2日目：境界線の発達と性行動のルール＜境界線の学習、本当の同意とは、本当の同意の学習、動機づけと養育者との協働＞

二日間にわたり上記の内容についてグループワークを交えながら研修しました。

研修内容の各項目でグループワークを実施し、参加者との交流を図りながら、各自が抱える職場での支援や面談等の課題に向き合えることが出来有益でした。

講師の野坂・浅野両氏の具体的な事例等を含め大変分かりやすい解説と支援者のありようをより深く理解するために、支援を受けるものと支援する側に立ってのワークを重ねるごとに体得と納得を体感しました。

支援員 宍倉 翠

●2019.11.22～23（於：大阪）

研修内容：性暴力の影響の理解と支援技法

- 1日目：トラウマインフォームド・ケア、トラウマによる感情の変化と対処
 2日目：トラウマによるからだや行動への影響と対処、トラウマによる思考の変化と対処、将来の安全性を高める

トラウマインフォームド・ケアではトラウマの理解に基づいた心理教育が必要で、トラウマのリマインダーや症状を適切にアセスメントし本人はもとより周囲へも適切な対処をとれるようケアすることが大切であることを理解しました。

ワーク【私の「気持ちの安全プラン」】を通じて、支援者として困っていることや疲れているまたつらいこと等の感情に気づき支援者自身の心身の健康を第一に考えることで適切な支援が行えると改めて感じました。

支援員 長廻久美子

※公開講座、もふもふネット研修会は日本財団の助成を受けて実施しました

第7回性暴力救援センター全国連絡会議報告

支援員 宍倉 翠

テーマ「性暴力被害者支援の現場のセクシャル・リプロダクティブ・ライツを考える」

日時：2019.9.28-29 会場：マイドームおおさか

参加者：性暴力救援センター全国連絡会登録団体43団体

1日目 オープニング：内閣府男女共同参画局推進課暴力対策推進室より以下の説明があった。

- ・全国の被害者状況を把握するため全国統一のケースシートとクロス集計表について
- ・相談員研修の日程について
- ・医療関係者及びセンター長コーディネーター対象研修日程について

終了後、「女を修理する男」2018年度ノーベル平和賞受賞ムクウエグ医師の活動を描いたDVDを視聴しました。

コンゴの性暴力と紛争と国の崩壊実態と医師による女性たちの自立とコンゴの国家の構造全体を修理するという名目で包括的な解決策を描いた内容でした。上映後、加藤治子さん（大阪SACHICO代表）と鈴木ふみさん（大阪SACHICOアドバイザー）それぞれの講演と対談がありました。

講演1：「上演を終えて」加藤治子さん

講演2：「セクシャル・リプロダクティブ・ライツの確立に向けて」鈴木ふみさん

2日目 支援員部会、司法部会、医療部会の分科会（10：00～12：00）と全体会

研修に参加して

コンゴ共和国の性暴力に被害の惨状を見て衝撃を受けました。それに対してムクウエグ医師の闘いのすごさが胸を打ちました。性暴力を受けて打ちひしがれた女性たちに向けて「何をなくした？」「望まないことをされただけだ」「決して失われていないよ」「心の中にいきているよ」というムクウエグ医師の言葉でした。これらの言葉について加藤医師は、医師たちがこのようなコメントができるかどうか。きちんとした所見が出せる医師になってほしいと言われました。

しまね性暴力被害者支援センターの体制は、他県に比べて被害者にとって充実した内容であることを実感し、今後もやりがいをもって一層啓発や支援に力を入れていきたいと感じました。

内閣府 SNS 相談「Cure Time」に参加しました

2019年12月10日（火）から24日（火）までの期間限定で、内閣府が行った性暴力のSNS相談「Cure Time（キュアタイム）」に、島根県の相談窓口として、しまね性暴力被害者支援センターさひめが参加しました。16時から22時まで、電話相談にプラスして慣れないSNS相談は大変でしたが、全国の仲間とつながる良い経験になったと思います。

ご協力いただいた20名の支援員の皆様、お疲れさまでした。



島根県受託事業について

●女性相談センター性暴力被害者支援員専門研修事業

性暴力被害者支援に携わる相談員に対して、被害者の気持ちに寄り添いながら適切な支援をおこなうことができるよう、必要な知識や技能を教授することを目的に今年度2回実施しました。

第1回 7月24日（水）／ 島根県職員会館 ／ 参加者 38名

講義① 性暴力被害事例の見立てと対応について

講師 河野美江さん（島根大学保健管理センター教授・しまね性暴力被害者支援センターさひめ理事）

講義② 性暴力被害者の法的支援について

講師 水野彰子さん（松江森の風法律事務所・しまね性暴力被害者支援センターさひめ理事）

第2回 10月17日（木）／ 松江市民活動センター ／ 参加者 15名

ロールプレイ実習

講師 早瀬真知子さん（臨床心理士・しまね性暴力被害者支援センターさひめ理事）

講師 谷口千枝さん（臨床心理士・しまね性暴力被害者支援センターさひめ支援員）

●若年層に対する暴力予防教育実践者研修事業

若者は男女交際における束縛を愛情と思い込む傾向があるため、デートDVが問題化する場合があります、

場合によってはストーカー行為や暴力・傷害につながるおそれがあります。また、近年、いわゆるアダルトビデオ出演強要・『JKビジネス』問題等若年層に対する性的な暴力の被害は多様化・深刻化しています。研修によって生徒自身が暴力について正しく知り、考え、未然に防ぐことを促すための予防教育の実践者の養成を目的として益田市と出雲市で開催しました。

講義 学校における若年層に対する暴力の予防について

講師 宍倉 翠さん（さひめ支援員・元養護教諭）

第1回 1月17日（金）／ 県益田合同庁舎 ／ 参加者 11名

第2回 1月31日（金）／ 県出雲合同庁舎 ／ 参加者 21名

♪♪ 会員・寄付のお願い

さひめの活動は、皆様からの会費・寄付により支えられています。趣旨にご賛同いただき、入会、ご寄附をお願いします。

●振込先：山陰合同銀行/島大支店/普通預金3822867

●口座名：しまね性暴力被害者支援センターさひめ

(年会費/一口あたり)

正会員 3,000円

団体会員 10,000円

賛助会員 2,000円

♪♪ これまでに助成や寄付をしてくださった団体

- ・国際ソロプチミスト松江 ・イオン黄色いレシートキャンペーン
- ・日本財団 ・松江市ボランティアセンター ・(有)アルソアいとくま

その他、個人の方からの寄付も多数いただきました。ありがとうございました。

♪♪ 会員 <平成30年2月～令和2年1月に会費納入いただいた方> (順不同・敬称略)

正会員 浅尾 英理, 安部 由紀美, 石橋 裕子, 猪野 郁子, 射場かよ子, 岩田 和子, 大國 暢子, 大谷 典子, 大西 俊江, 岡崎 由美子, 小村 俊美, 桐山 香代子, 蔵 あすか, 河野 美江, 近藤 美穂, 佐々木 久美子, 澤 アツ子, 宍倉 翠, 陶山 かおり, 徳岡 光子, 外谷 一子, 長廻 久美子, 成瀬 明子, 長谷川 久美, 早瀬 眞知子, 原 正子, 福庭 真由美, 星野 由美, 榎原 研, 美川 寛, 光谷 香朱子, 村上 和代, 若槻 みき子, 橋爪 愛来, 本家 泉衣, 谷川 円, 原 市, 匿名 12名

団体会員 内田クリニック、医療法人マザリー、医療法人江田クリニック

賛助会員 岡崎 奈々子、藤原 良子、藤原 健司、長谷 善幸、匿名 2名



発行・編集

一般社団法人しまね性暴力被害者支援センターさひめ

FAX : 0852-32-6567

e-mail : shimane.sahime@gmail.com

HP : <http://sahime.onnanokonotameno-er.com>

編集後記

全国で行われているフラワーデモ、島根県でも2月11日に行われました。いろいろな方と一緒に立ちました。30人くらいでしたが、さひめのメンバーも何人もいました。お天気が良くて良かったです。3月8日も松江駅で行われます。